

令和三年度医学研究助成金受賞者紹介

免疫逃避機構の新規分子基盤解明による
新たながん治療戦略創出に向けた基盤研究

熊本大学大学院生命科学研究部
分子遺伝学講座 講師 門松 毅



この度は肥後医育
振興会医学研究助成
金を賜り、誠にあり
がとうございます。

選考委員の先生方や関係者の皆様、ご推薦いただきました分子遺伝学講座の尾池雄一教授に心より御礼申し上げます。

私は、熊本大学大学院生命科学研究部分子遺伝学講座において、臓器老化や加齢関連疾患の発症・進展の分子機構解明研究に従事しております。

ANGPTL2は、当研究室で同定された分子であり、生理的には組織の恒常性維持に重要な役割を果たしていますが、加齢や種々のストレスによってその産生が増加することで、加齢関連疾患の発症・進展を促進することを明らかにしています。がん病態では、がん細胞から分泌されたANGPTL2が、がん細胞自身の運動能や浸潤能を活性化し、転移を促進することを解

明しました。近年、がん細胞が様々なメカニズムによりがん免疫応答から逃れる免疫逃避が、病態進展や免疫チェックポイント阻害剤に対する感受性に寄与することが注目されています。最近、我々は、ANGPTL2が、がん細胞の免疫逃避に寄与していることを見出し、そのメカニズムが明らかになりつつあります。

本助成金の受賞を励みに、医学の発展の一助となるような研究成果が上げられるよう、日々の研究に邁進して参ります。この度は誠にありがとうございます。

* * *

心房細動患者における心臓CTを用いた 心筋評価・撮影法確立と臨床的意義の解明

熊本大病院画像診断科・治療科
特任助教 木藤 雅文



この度は肥後医育
振興会医学研究助成
金を賜り、誠に有難
うございます。選考

委員の先生方、関係者の皆様、ご指導頂きました先生方に深く御礼申し上げます。

ます。

私は画像診断・治療科に所属し、心血管領域のCTおよびMRIの臨床および研究に従事しております。心房細動患者のリスク層別化や個別化医療にカテーテルアブレーション術前の心筋組織性状評価（心筋線維化評価）が有用となることから、心臓MRIによって示唆されています。しかし、心臓CTを用いた研究はありません。心臓CTは広く普及しており、短時間で金属デバイスを有する患者の撮像も可能です。したがって、心房細動治療前の一回のCT検査でプランニング画像と左室心筋性状評価画像を同時収集できれば、患者負担軽減、画像検査数や医療費の削減（社会的利益）につながる可能性があります。

本研究によって、心房細動に対するアブレーション術前心臓CTを用いた心筋組織性状評価法・撮影法を確立し、さらに心臓CTによる心筋組織性状評価がアブレーション後の治療効果予測や予後予測に有用であるかを明らかにできると期待しています。

今回の受賞を励みに、今後本研究がさらに発展できるよう精進して参ります。この度は誠に有難うございました。

* * *

セリンプロテアーゼの制御による CKD移行及び重症化抑制のための 新規AKI治療法の確立

熊本大病院薬剤部
助教 成田 勇樹



この度は、肥後医
育振興会助成金、な
らびに学術奨励賞を
賜り誠にありがとうございます。

選考委員の先生方や関係者の皆様、ご推薦頂きました薬剤部長・齋藤秀之教授に心より御礼申し上げます。

私は、現在薬剤師として臨床業務を行いつつ、腎臓内科の先生方と共に、セリンプロテアーゼの制御による急性腎障害(AKI)に対する治療法の確立を目指した研究を行っております。

我が国では、新規透析導入患者の抑制が重要な医療課題となっておりますが、近年、AKIが原因で透析導入に至る症例が慢性腎臓病例よりも圧倒的に多いことが明らかとなり、AKI対策が必要不可欠とされています。しかしながら、現在のところ確立された治療法はありません。本研究では、Lipopolysaccharide 誘発性AKIモデルマウスを用いて、AKIに対する非特異的セリンプロテアーゼ阻害薬の